

世界に輝く研究大学を目指して

総長の任期中の基本方針

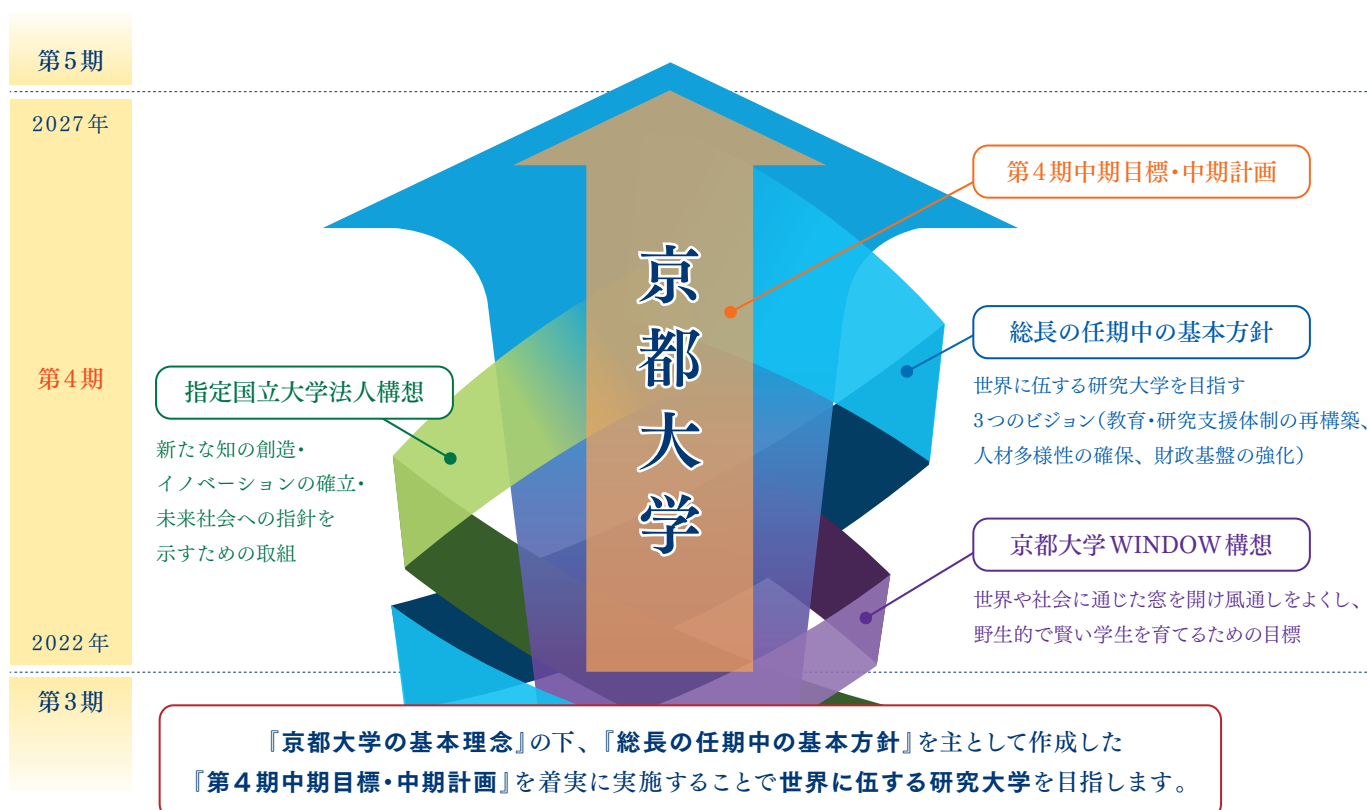
2015年に策定したWINDOW 構想、2017年に指定を受けた指定国立大学法人構想等を踏まえ、2021年に湊総長が任期中に目指す基本方針として「世界に輝く研究大学を目指して」を策定しました。魅力ある教育・研究環境の整備と自律的な大学運営を可能とする基盤を強化し、本学が誇る独創的な基礎研究を確実に推進することにより、世界に伍する研究大学を目指すという湊総長の考えを背景としたものです。

特に以下の3つのビジョンを重点課題とし、これらに基づいて着実に具体的な施策に取り組んでいます。



湊総長の任期中の基本方針「世界に輝く研究大学を目指して」全文
www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/president/kihon-houshin

世界に輝く研究大学



ビジョン実現に向けたロードマップ

第4期中期目標・中期計画(2022年度～2027年度)は、本学の社会に対する「公的な約束」であり、以下の主なキーワードで示す各種取組を掲げています。この中期目標の達成に向けて、着実に中期計画を実行していきます。

また、毎年度、中期計画の取組状況について自己点検・評価を実施・公表することで、社会に対する説明責任を果たし、皆様の理解と信頼の獲得に努めます。さらに、大学全体のみならず各部局単位でもそれぞれ定期的な自己点検・評価を実施し、その結果の積極的な情報発信や運営への活用に取り組んでいきます。

第4期中期目標・中期計画における主なキーワード

教育

- ◎ 大学院教育を支援する全学組織の設置
- ◎ Kyoto iUPや少人数教育(ILASセミナー)の充実
- ◎ 女子学生比率の増加
- ◎ 学生相談・支援全般の整備

人材育成

- ◎ 学生(修士課程・博士後期課程)への経済支援強化
- ◎ 優秀な若手研究者の増加
- ◎ 女性教員比率の増加
- ◎ 職員の人事制度改革等の実施

業務運営等

- ◎ 強靱なガバナンス体制の構築
- ◎ 研究成果・学術資源のオープンアクセス化等の情報発信
- ◎ 「京都大学スマートキャンパス計画」等の環境整備
- ◎ 基金活動の推進及び学内資源配分の最適化

研究

- ◎ 人文・社会科学の学際研究の推進と社会発信
- ◎ スモールアイランド型研究領域等の新領域の開拓
- ◎ 研究者支援体制の充実
- ◎ ベンチャー支援を通じた研究成果の社会還元

社会連携

- ◎ On-site Laboratory等を活用した国際共同研究の推進
- ◎ 組織対組織による大型共同研究の増加
- ◎ デジタル化・グローバル化に相応しい図書館機能の整備
- ◎ 先端医療研究開発機構(iACT)を中心とした事業展開等

第4期中期目標・中期計画全文

www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/evaluation/houjin/4th-medium

各取組の実現に向けた役員体制 (2022年10月1日現在)

湊 長博
総長(第27代)

稲垣 恭子

理事(副学長) / 男女共同参画、国際、渉外(基金・同窓会)

岩井 一宏

理事(プロボスト、副学長) / 企画・調整、附属病院

北村 隆行

理事(副学長) / 研究倫理、研究公正、研究規範、経済安全保障

串田 俊巳

理事 / 総務、労務、人事、危機管理[学外]

澤田 拓子

理事 / 産官学連携[非常勤、学外]

時任 宣博

理事(副学長) / 研究、評価

野崎 治子

理事 / 広報[学外]

引原 隆士

理事(副学長) / 情報基盤、図書館

平島 崇男

理事(副学長) / 教育、学生

村上 章

理事(副学長、総長代理、総長代行) / 財務、入試、施設、環境